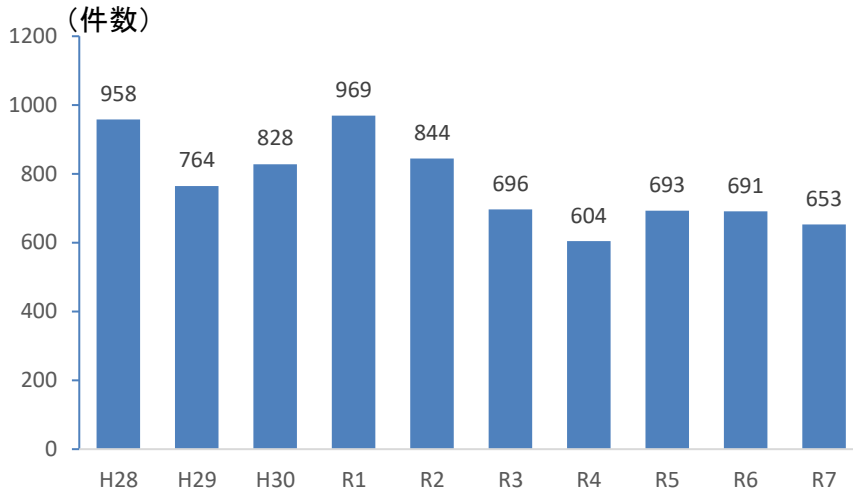


令和7年 配偶者からの暴力事案等への対応状況

— 大分県警察本部 生活安全部人身安全・少年課 —

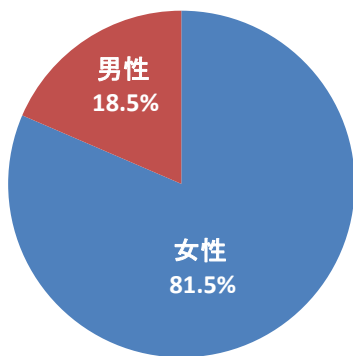
1 配偶者からの暴力事案等対応件数の推移（過去10年）



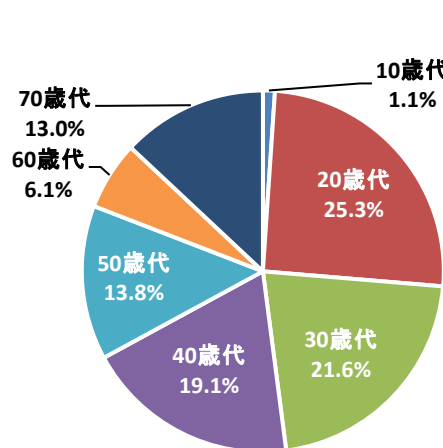
令和7年中の対応件数は653件で前年対比-38件（-5.5%）と微減しました。

2 配偶者からの暴力事案等「被害者」の性別等（令和7年中）

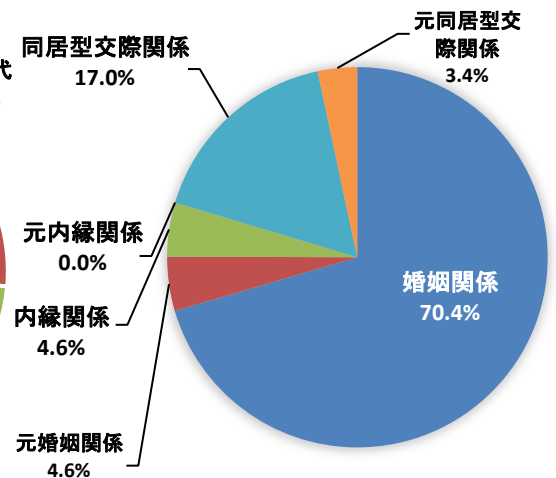
(1) 被害者の性別



(2) 被害者の年齢

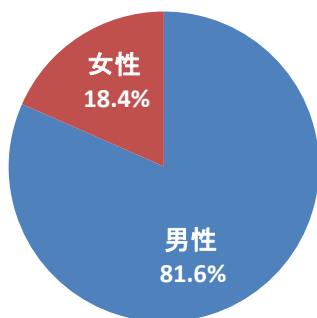


(3) 被害者と加害者の関係

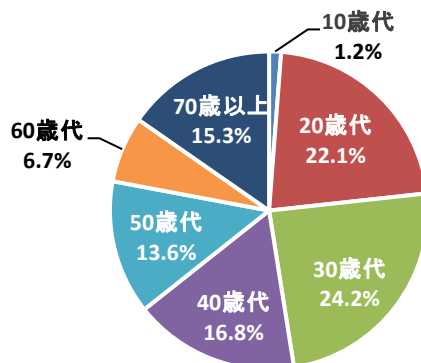


3 配偶者からの暴力事案等「加害者」の性別等（令和7年中）

(1) 加害者の性別



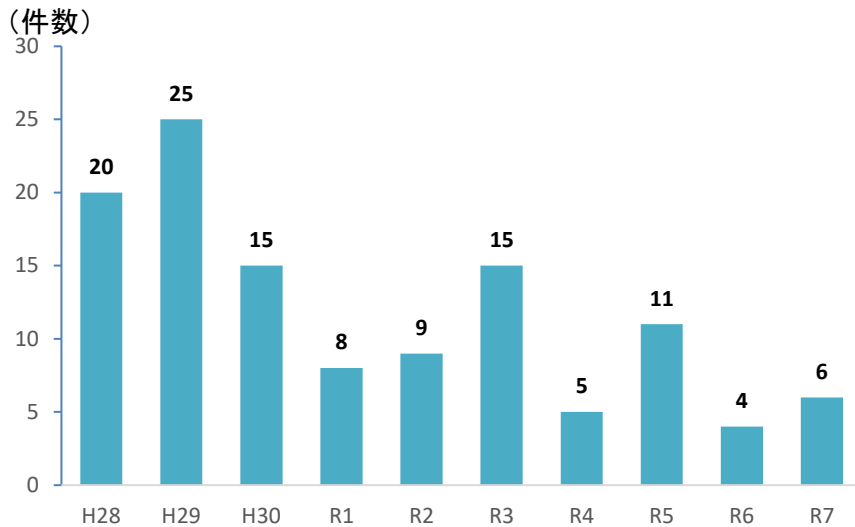
(2) 加害者の年齢



・DVの被害者は女性が多く、婚姻関係が7割を占めています。
 ・年齢別では、20～40歳代の被害が多くなっています。

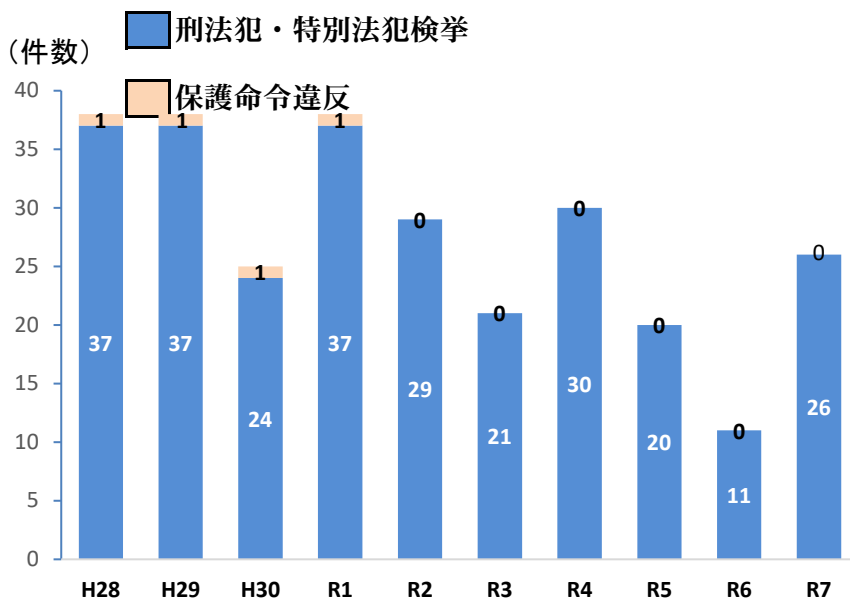


4 配偶者暴力防止法に基づく「保護命令」の推移（過去10年）



・「保護命令」とは、被害者からの申立てにより、裁判所が加害者に対し、被害者へのつきまとい等をしてはならないことを命ずることです。
違反した場合は処罰の対象となります。

5 配偶者からの暴力事案等の検挙状況の推移（過去10年）



・令和7年中の配偶者からの暴力事案に関する検挙は、26件（前年比+15件）でした。
・刑法犯・特別法犯検挙の内訳は傷害（13件）、暴行（8件）、脅迫（3件）等になります。

注) 法改正を受け、平成20年1月11日施行以降は、生命等に対する脅迫を受けた事案について、平成26年1月3日以降は生活の本拠を共にする相手方からの暴力事案についても、それぞれ計上しています。